

# 自殺とケア —「社会的良心」をめぐって—

同志社大学  
木原活信

## 先生、どうしたらいいのですか？

今から20年前の女子学生との出会い

「良心」の発露として

木原活信公式ブログ雑想より

<http://joe0918.blogspot.jp/2015/05/blog-post.html>

# 自殺をケアすること

「弱さ」へのまなざしからみえるもの

木原活信・引土絵未 編著



## はじめに

- 自らの意志で死ぬということ
- 死ぬ権利？
- ある臨床医の回想
- 覚悟の死？ 選択された死？

## 用語の問題：自殺か自死か

- ある自治体の選択
- 二つの意見
- 議論の未成熟

## 自殺は社会の鏡

自殺は、人の命に関わる  
極めて「個人的な問題」である。

しかし同時に

自殺は「社会的な問題」であり、

「社会構造的な問題」でもある(NPO法人ライフリンクの巻頭言より)

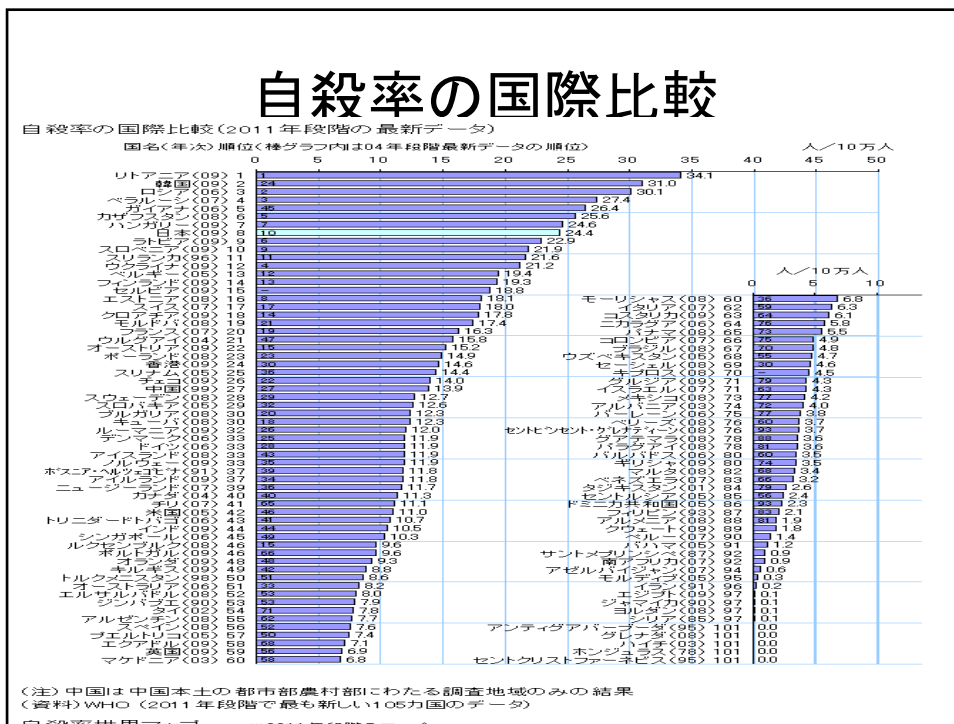
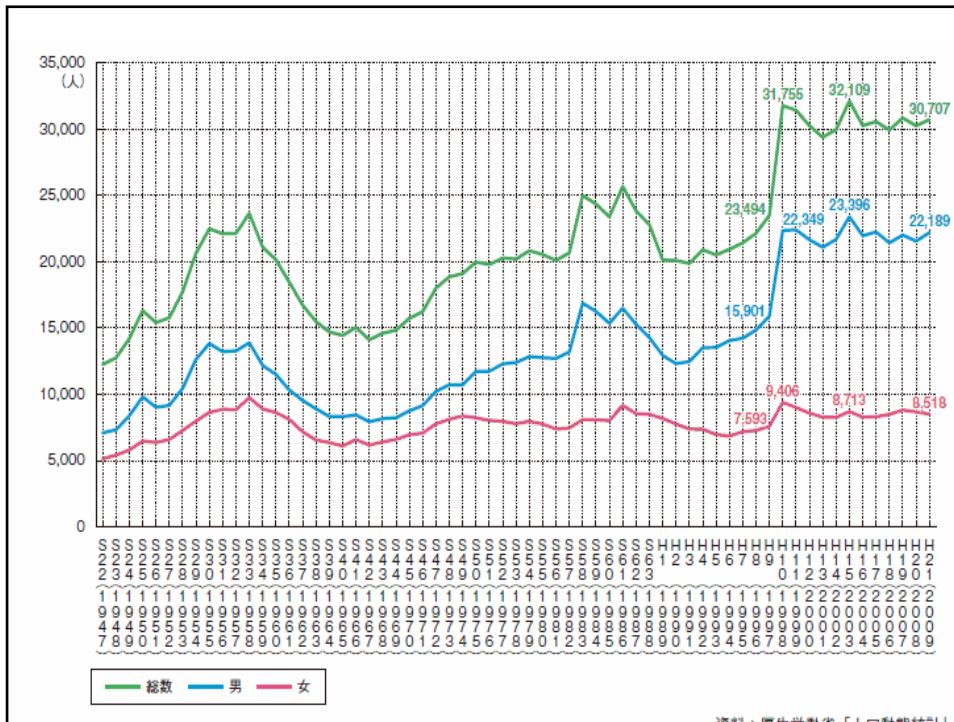
⇒「社会的良心」Jane Addams

## 日本の自殺の現状

- 自殺者数3万人前後  
27195(2013年)
- 未遂者は? ×10(推定)
- その影響 遺族、知人 ×10(推定)
- 2010年統計 31690人  
交通事故者数(4863人)の6.51倍
- 1日 平均 約何人? →
- 1時間で約何人? →

## 自殺数の特徴とそのイメージ

- 広島市民球場が満員状態の数
- 交通事故死者数の5倍以上
- 20-40歳までの死亡原因一位
- 世界の自殺による総死亡数(毎年100万人推定)は、殺人(50万人)や戦争(23万人)による死亡数より多い。
- 自殺死亡率 米国の2倍、英国の3倍

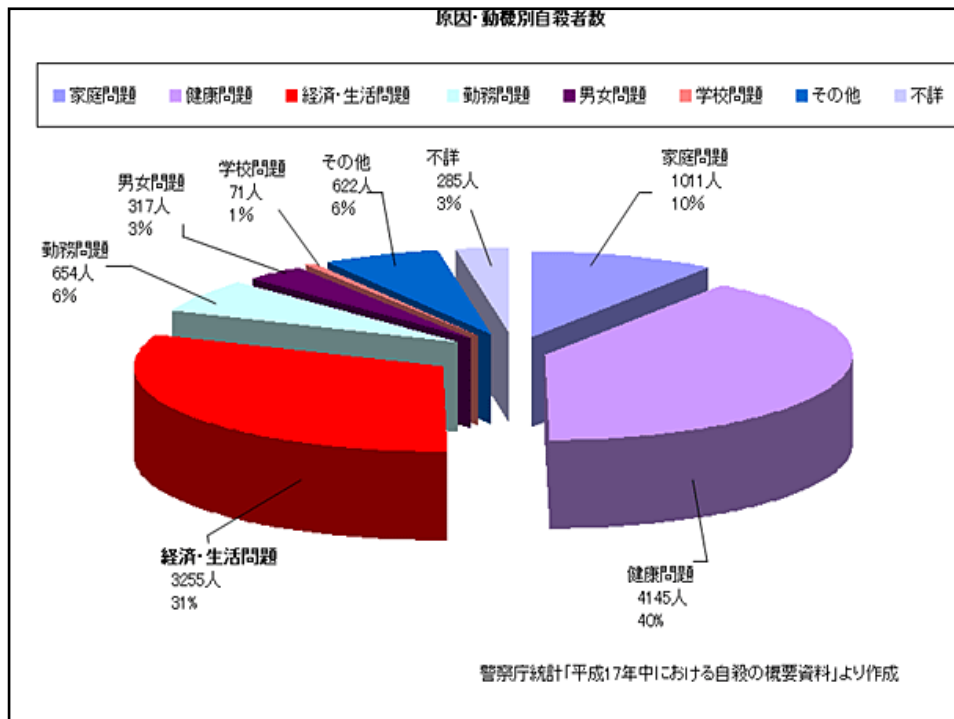


## 自殺と文化 日本はなぜ自殺が多いか

- 日本の自殺をとりまく文化
  - 腹切り 切腹
  - 心中
  - 姥捨て山伝説
  - 「助けて」と言えない社会 弱さの開示
  - 宗教と自殺
- 欧米の場合は、キリスト教の影響
- カトリック、プロテスタント

## 自殺の原因

- 「健康問題」が15,802人
- 「経済・生活問題」7,438人、
- 「家庭問題」4,497人、「勤務問題」2,590人
- ただし、原因は単一ではなく、上記含めてそれらが複合的であると考えべき。  
→うつ病との関連には注意
- 19歳以下の男性では「学校問題」、40歳代及び50歳代の男性では「経済・生活問題」

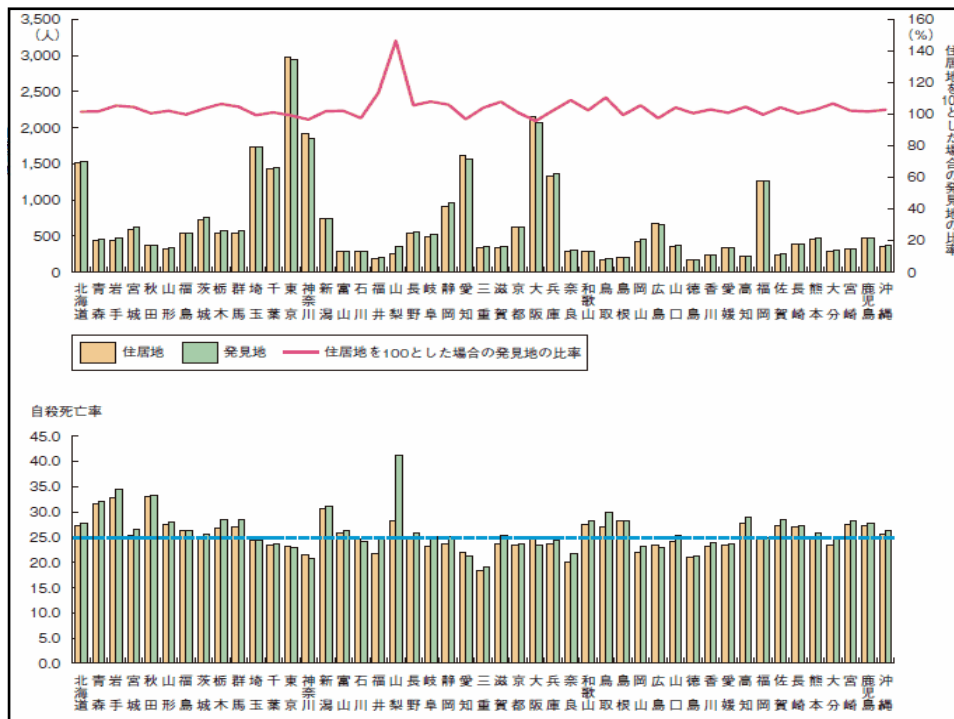


## 自殺の習性、傾向(日本)

一週間のうちで一番自殺が多いのは？

一年のうちで一番自殺が多い月は？

自殺の多い都道府県は？



## 対策

WHO世界自殺予防戦略(WHO: SUPRE):

世界自殺予防戦略(SUPRE; Suicide Prevention)

「世界中で自殺が重大な問題であるとの認識が欠如しており、多くの社会ではこの問題を議論することもタブーとされており、…自殺予防は十分に取組みされていない」

「自殺予防のためには、健康関連領域外からの介入も必要なことは明らかであり、健康関連領域とそれ以外の両者による革新的、包括的な多領域からのアプローチが必要である」



## 「自殺」は予防することができる

- 自殺は「追い詰められた末の死」であり、「避けることの出来る死 (avoidable death)」(WHO)
- 自殺率が高かった海外の諸国では、様々な自殺対策が行われてきた。
- フィンランドでは、国家プロジェクトとして自殺対策に取り組み、10年間掛けて自殺率を3割減少

## 自殺予防の3段階

### • **プリベンション**

(事前対応: 自殺につながりかねない要因を取り除き、自殺を予防すること)

### • **インターベンション**

(危機介入: 自殺に密接に関連する危険な行為を早期に発見し、適切に対処することで再度の危険な行為や自殺を予防する)

### • **ポストベンション**

(事後対応: 遺された人へのケア)

## 三つの基本的な認識

- 1) 自殺は追い込まれた末の死
- 2) 自殺は防ぐことができる
- 3) 自殺を考えている人は悩みを抱え込みながらもサインを発している

## 6つの柱

- 〈1〉 社会的要因も踏まえ総合的に取り組む
- 〈2〉 国民一人ひとりが自殺予防の主役となるよう取り組む
- 〈3〉 自殺の事前予防、危機対応に加え未遂者や遺族等への事後対応に取り組む
- 〈4〉 自殺を考えている人を関係者が連携して包括的に支える
- 〈5〉 自殺の実態解明を進め、その成果に基づき施策を展開する
- 〈6〉 中長期的視点に立って、継続的に進める

## 自殺と社会

- 失業、貧困問題、格差社会との関連
- 孤独死、無縁社会との関連
- 社会は、もっとこの問題に真摯に向かいあうべきである 「社会的良心」

・弱さと社会